

歩く県道、道普請、地域づくりについて

地域づくり検討業務委託(交流・元気) (河沼郡会津坂下町大字東松 地内外)

1. はじめに

会津若松建設事務所管内には、交通不能区間が7区間あり、関係機関等(各市町村、各期成同盟会等)から交通不能区間の解消のための整備要望が出されている。

しかしながら、道路事業予算の縮減等により、道路整備が困難な状況にある。

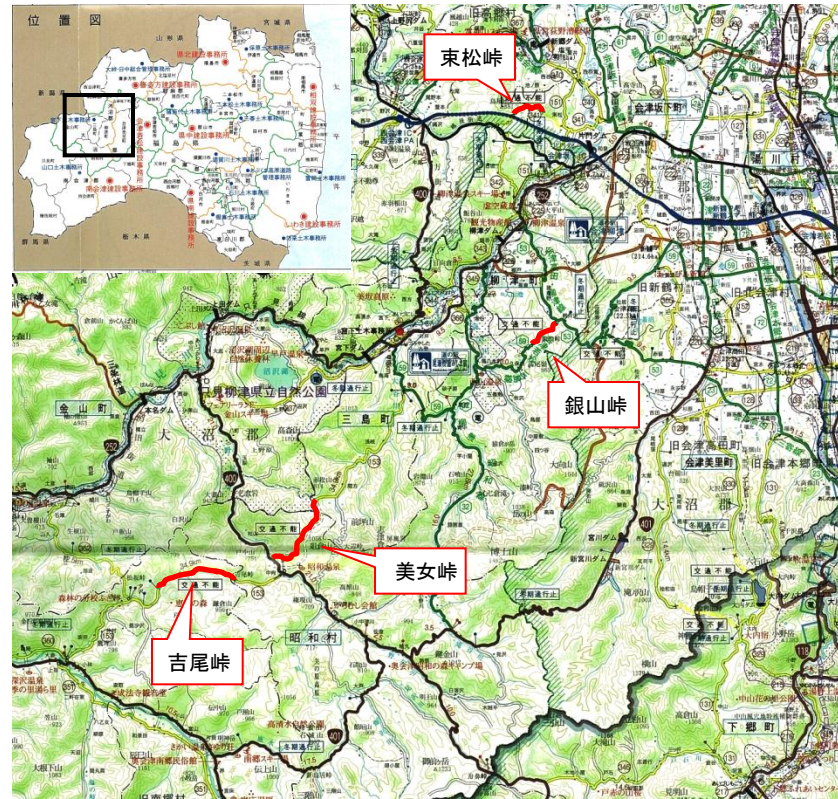
交通不能区間となっている峠部のうち、古来より往来のあった道(旧街道)のある地域については、地域住民によるウォーキングイベント等が開催されており、これらの資源を活用した地域活性化の仕掛けづくりが必要になっている。

当事務所では道普請を通じ、歴史を体感しながら散策できるよう取り組みを行うとともに、峠部を挟んだ地域同士の人的交流を支援している。

2. 経緯・課題

県の支援として、イベントの一部に地域づくり総合支援事業が活用されている。

また元気ふくしま交流促進事業により、峠を活用した地域づくりの支援を目的に、平成21年度より東松地区(会津坂下町)等において地域づくり懇談会を開催している。



3. 内容

事業実施箇所

(主)会津若松三島線(銀山峠:銀山街道) L=3.8km

(一)別舟渡線(東松峠:越後街道) L=2.5km

(一)小林会津宮下停車場線(美女峠:銀山街道) L=7.6km

(一)小林会津宮下停車場線(吉尾峠:銀山街道) L=2.0km

街道の保全(修繕工事)の実施にあたっては、地域との協働により進める。

4. 進捗状況・創意工夫

H21 検討会(東松峠)、旧街道現地調査

H22 検討会(東松峠)、「歩く県道」としての保全計画(案)の策定

H23 検討会・実証実験(東松峠)

H24 検討会・実証実験(東松峠・銀山峠)

H25 検討会・実証実験(東松峠・銀山峠・美女峠)

田賀准教授(東北芸術工科大学)をアドバイザーに依頼
また同大の学生に検討会・実証実験に参加してもらい、今後の整備方針や利活用の方法について、地元(地域住民・消防団など)や関係団体、地元の役場とともに検討を進めている。

5. おわりに

・東松峠・・・整備を予定していた工区はほぼ終了。今後は地域の取り組みを踏まえた維持管理(利活用)の手法について検討していく。

・銀山・美女・吉尾峠・・・実施例(東松峠)を踏まえて整備を進めつつ、今後の進め方を関係団体と協議していく。

整備事例:美女峠

